



も と は し つ う し ん

本橋通信

第29号
2023年1月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★

★2022年の漢字は「戦」ですが…★

皆さまこんにちは。本橋通信第29号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。例年「年のしめくりに」と発表される今年(2022年)の世相を表す漢字は「戦」でした。清水寺の貫主が揮毫するシーンが恒例です。確かに2月に突如始まったロシア・ウクライナでの戦い、感染症・円安や長引く物価高から自らの生活を守る戦い…と、一日も早く終息を願わずにはいられないものから、サッカーW杯でのアツイ戦い…まで、世界の厚い壁の向こうにある「違う景色」への挑戦は、見ている皆が励まされた立派な⚽戦いでした！ この「戦」という漢字は、世界同時多発テロがあった2001年にも選ばれており、あまり良い印象というより、ちょっと身構えてしまいます… 勿論、皆さんそれぞれのお立場で振り返ると違う字を思い起こされるのではないのでしょうか？ 私は22年終盤に、違うステージへ挑戦しようと、これまでの心地良い環境を捨て、再び独り親方FAの選択をして2023年を迎えました。私の22年の漢字は「独」です。やはりIFA(独立系ファイナンシャルアドバイザー)ですので、金融のプロフェッショナルとして「独」り「立」ちし、お客さまとの1:1の関係性に全てのリソースを集中し、課題を一緒に考えるという原点に戻りたいと思います。とは言え…自分独りだけで付加価値の高い仕事ができる訳でもなく、多才なタレントの方々と社会的意義あるビジネスに挑戦してみたい… と思っています。



奇しくも23年は卯(ウサギ)年。様々なことの区切りがつき、次に向かって成長・増殖という明るい世界が広がる年と言われます。今は少しだけ静かにしゃがんでも、後々大きなジャンプ(飛躍)ができるウサギを見倣い、何事にも「挑」んでみる2023年にしたいですね。

IFA本橋の本棚より

昨夏にお亡くなりになった京セラ創業者:稲盛和夫さんの本『経営12カ条 経営者として貫くべきこと』私の本棚には、生き方、燃える闘魂、京セラフィロソフィ他、稲盛さんシリーズは何冊もありますが、これは会社経営の原理原則をまとめた集大成です。大切な部分があり過ぎて紹介しきれないのですが…この12カ条は、複雑な要素が絡みあう会社経営というものを、非常にシンプルな本質に立ち返って示しています。事業の目的・意義、具体的な目標、強烈な願望を心に、誰にも負けない努力を、売上最大化と経費最小化、値決めは経営、経営は強い意志、燃える闘魂、勇気をもって打ち込め、常に創造的な仕事を、思いやりの心で誠実に、そして最後は、、、明るく楽しく前向きに・夢と希望を抱いて素直な心を。という12カ条です。

印象的なフレーズを敢えて2つ。中長期計画はいらない -1年毎の愚直な努力を積み重ねよ。変化が激しい経済環境で何れ反故にするような計画なら立てない方がよいとは、まさに昨今の状況ではドンピシャで、柔軟な対応力こそ大事だと。私が最も好きなのは、**人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力**です。熱意・能力は勿論、考え方は-100点から+100点なので、不足する能力は熱意ある努力でカバーし、ポジティブな考え方で取り組めば必ずや素晴らしい結果が得られるとの名言です。自ら興した京セラやJALの再建、旧盛和塾生の中小企業に至るまで、業種・業態一切問わず実証済の経営哲学ここにあり。



